

# 施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 **11**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	II 環境循環都市
施策名	④ 循環型社会の構築

所管部局	所管部局長の氏名
市民部	木村 嘉充
農林水産環境部	石嶋 政博

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市バイオマスタウン構想	有効に活用されず放置、又は廃棄されているバイオマス資源を有効に活用する方策を導き出すために策定。	平成19年11月	平成19年度～平成25年度	他施策の「新しいエネルギーの導入と活用」にも該当

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	農林水産業、商工業、一般家庭等の様々な分野から多種多様な形で発生・存在するバイオマス資源・エネルギー等の活用	市内生ごみの発生抑制と資源活用を推進する	排出される生ごみが減少し、排出された生ごみも資源化することにより、実質的に可燃・埋立処理する生ごみがない状態(ゼロエミッションの推進)	1 循環型社会環境の整備
2	農林水産業、商工業、一般家庭等の様々な分野から多種多様な形で発生・存在するバイオマス資源・エネルギー等の活用	エコエネルギーセンターで発生するメタン発酵消化液の農業利用を促進する	環境保全型農業を普及し、自然環境の保全に寄与するとともに、「環のちから」ブランドの販売促進により農家所得を向上し、基盤強化する	1 循環型社会環境の整備 2 循環型産業の育成
3	リサイクルの推進と意識の向上、古紙の再資源化を進めるために	古紙回収団体が行う古紙回収事業に対し、回収実績に応じた補助金を交付し	焼却処分するごみ量の抑制を図る。	1 循環型社会環境の整備

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		直近年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
循環型社会をめざします		リサイクル率	21%	H15	22.1%	H20	18.7%	H24	27%	H26
		環境NPOの数	3団体	H16	4団体	H20	4団体	H24	5団体	H26
		廃棄物系バイオマスの利用率	新規	-	72.9%	H19	72.9%	H19	96.6%	H26
		未利用バイオマスの利用率	新規	-	5.3%	H19	5.3%	H19	36.3%	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		直近年度実績値(現状)		目標	
				年度	年度	年度	年度	年度	年度
京丹後市環境基本計画		エコ京都21認定数(循環型社会形成部門)	限りある資源を有効に活用するまち	1事業所	H20	1事業所	H20	3事業所	H30
		リサイクル率		22.1%	H20	18.7%	H24	27%	H30
		環境NPOの数	豊かな財産を環境に生かすまち	4団体	H20	4団体	H24	5団体	H30
		廃棄物系バイオマス利用率		72.9%	H19	72.9%	H19	96.6%	H30
		未利用バイオマス利用率		5.3%	H19	5.3%	H19	36.3%	H30
京丹後市バイオマスタウン構想		廃棄物系バイオマス資源の利活用率	市内で発生する生ごみ、汚泥、廃食用油、家畜排せつ物、廃材等	72.9%	H19	72.9%	H19	96.6%	H25
		未利用バイオマス資源の利活用率	市内で発生する林地残材、竹材、稲わら、籾殻等	5.3%	H19	5.3%	H19	36.3%	H25

4 構成事務事業・評価結果一覧 **DO** **CHECK**

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果			
			H24決算額	H25予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値 説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性	
1 循環型社会環境の整備	1 リサイクル推進事業 古紙回収団体へ回収実績に応じた補助金を交付(申請件数159件)	市民課	14,890	16,000(2,000)	市規定	単費	○	サービス	団体	補	2	特定サービス	3	A	現状維持
	2 エコエネルギーセンター管理運営事業【II-②にも該当】 エコエネルギーセンターの管理運営(改修工事19,893千円)	環境バイオマス推進課	19,996	20,103(20,103)	市規定	単費	○	維持管理	市民	指	3	個性魅力	1,2	A	縮小
	3 資源循環推進事業【II-③にも該当】 エコエネルギーセンターを活用した市内の生ごみの資源化を実証(対象:6地区194世帯、実績:15.2t/年)	環境バイオマス推進課	1,707	616(616)	なし	単費	○	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	1,2	A	拡大
2 循環型産業の育成	1 液肥普及推進事業【I-②にも該当】 「環のちから」の販路拡大のための農家向け勉強会(1回、参加者:19人)等を実施	環境バイオマス推進課	207	-	なし	単費	○	サービス	市民	直	3	個性魅力	2	A	現状維持
	計		36,800	36,719(22,719)											

5. 歳出抑制の考え方について **ACT**

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成26～28年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	エコエネルギーセンターの指定管理料減額(平成25～平成27年度指定管理料総額を50,000千円とする協定を締結済)	20,000千円	協定期間が平成27年度に終了するため、一般財源抑制見込額欄の金額は未確定部分あり

予算科目	O4衛生費	O2清掃費	O1清掃総務費	O2リサイクル推進事業																									
細事業名	O1 リサイクル推進事業				決算書	P.186																							
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	④ 循環型社会の構築																								
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																								
14,890千円		14,973千円	83千円	99.4 %	16,000千円																								
目的	市民のごみ問題への参加意識の高揚を図るとともに再資源化の促進に資するため、資源として再利用できる古紙等の回収活動を行う団体に対して補助金を交付する。																												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>古紙回収を行う団体（共同作業所、小中学校PTA、婦人会等）に対し、回収実績に応じた補助金を交付することにより、市民のリサイクル意識の向上、古紙の再資源化の推進、焼却処分するごみ量の抑制につながった。</p> <p>○負担金、補助金及び交付金  古紙回収団体補助金（5円/kg×2,978,033kg） 14,890 千円  申請件数（延べ） 159 件  交付団体数 63 団体</p>																												
	<p>【内訳】 (単位：kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新聞紙</th> <th>段ボール</th> <th>雑誌</th> <th>紙パック</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>1,127,470</td> <td>763,880</td> <td>1,068,810</td> <td>17,873</td> <td>2,978,033</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,186,186</td> <td>792,605</td> <td>1,124,350</td> <td>21,565</td> <td>3,124,706</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1,203,260</td> <td>1,131,230</td> <td>773,460</td> <td>20,972</td> <td>3,128,922</td> </tr> </tbody> </table>						年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	合計	H24	1,127,470	763,880	1,068,810	17,873	2,978,033	H23	1,186,186	792,605	1,124,350	21,565	3,124,706	H22	1,203,260	1,131,230	773,460	20,972
年度	新聞紙	段ボール	雑誌	紙パック	合計																								
H24	1,127,470	763,880	1,068,810	17,873	2,978,033																								
H23	1,186,186	792,605	1,124,350	21,565	3,124,706																								
H22	1,203,260	1,131,230	773,460	20,972	3,128,922																								
主な財源	諸収入 オ-ムジ ャホ 宝くじ市町村等交付金				11,781千円																								
評価・課題等	<p>○焼却施設の処理負担減及び最終処分場の延命化（焼却灰の減量）を図るため、今後もリサイクル意識の啓発や再資源化による古紙の減量に取り組む必要がある。</p> <p>○峰山庁舎において、紙ごみ（雑紙類）の分別を開始し、分別効果の実証を行った。今後、市各庁舎及び一般家庭等に取り組みの拡大を図る必要がある。</p>																												
事業所管課		市民部／市民課																											

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	12IJI社 <sup>®</sup> -セ <sup>®</sup> 管理運営事業																						
細事業名	01 IJI社 <sup>®</sup> -セ <sup>®</sup> -管理運営事業			決算書	P.176																					
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	④ 循環型社会の構築																					
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																					
19,996千円		20,103千円	107千円	99.4 %	20,103千円																					
目的	エコエネルギーセンターを生ごみ再資源化や環境保全型農業の推進など、『環境循環都市』の実現に向けた中核施設として活用するため、施設の維持・管理を行う。																									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○火災保険料 103千円</p> <p>○工事請負費（各設備改修工事・機器オーバーホール） 19,893千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタン発酵槽屋上補助ブロワ改修工事 388千円</li> <li>・脱硫塔改修工事 8,295千円</li> <li>・ガスエンジン発電装置改修工事 3,150千円</li> <li>・排水処理棟ビニールホース配管改修工事 276千円</li> <li>・投入液破砕ポンプ改修工事 5,954千円</li> <li>・排水処理棟外周コンクリート打設工事 154千円</li> <li>・消化液固液分離ライン改修工事 1,513千円</li> <li>・発電機室ドレン配管改修工事 163千円</li> </ul> <p>≪施設運営状況≫</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td rowspan="4">見学者数（人）</td> <td>市内</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>329</td> </tr> <tr> <td>国外</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>518</td> </tr> <tr> <td>原料受入量（t）</td> <td colspan="2">3,911</td> </tr> <tr> <td>発電量（kWh）</td> <td colspan="2">494,200</td> </tr> <tr> <td>売電量（kWh）</td> <td colspan="2">174,558</td> </tr> <tr> <td>液肥利用量（t）</td> <td colspan="2">3,858</td> </tr> </table>					見学者数（人）	市内	187	市外	329	国外	2	計	518	原料受入量（t）	3,911		発電量（kWh）	494,200		売電量（kWh）	174,558		液肥利用量（t）	3,858	
見学者数（人）	市内	187																								
	市外	329																								
	国外	2																								
	計	518																								
原料受入量（t）	3,911																									
発電量（kWh）	494,200																									
売電量（kWh）	174,558																									
液肥利用量（t）	3,858																									
主な財源	府補 未来づくり交付金（液肥製造施設整備事業） 3,000千円 市債 IJI社 <sup>®</sup> -セ <sup>®</sup> -整備事業債（未来づくり資金） 8,800千円																									
評価・課題等	○施設の適切な管理運営のため、コスト削減に留意しつつ必要な機械設備の改修を行い、ごみの再資源化、バイオマス発電による温室効果ガスの削減に寄与し、また、再資源化による液肥の農業利用により資源循環・環境保全型農業の推進を図ることができた。平成24年12月からは排水処理工程を停止し、メタン発酵消化液の全量を液肥として再資源化している。 ○より効率的な施設運営と資源循環型農業の推進に努めるため、液肥の利用推進を図る必要がある。																									
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課																									

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	18資源循環推進事業	
細事業名	01 資源循環推進事業			決算書	P.178
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市		計画項目	④ 循環型社会の構築
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,707千円		1,719千円	12千円	99.3%	811千円
目的	持続可能な循環型社会を目指すため、京丹後市エコエネルギーセンターを活用し、市内の家庭から排出される生ごみの資源化を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>バイオガス発電施設を運営する先進自治体を視察し、バイオガス発電施設における生ごみの資源化やその過程で発生する液肥の農業利用を推進する上で必要となる調整事項や課題を収集した。また、生ごみの分別・収集方法の検討などをモデル的に実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費（普通旅費） 50千円</li> <li>○有料道路通行料 11千円</li> <li>○先進地視察（旅費、燃料代、車両借上料等） 220千円  開催日：平成24年11月14日（水）～15日（木）  視察先：大分県日田市、福岡県大木町、熊本県山鹿市  参加者：市職員4人</li> <li>○生ごみ資源化実証 1,426千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・液肥タンク関係消耗品等 17千円</li> <li>・生ごみ処理委託料 351千円</li> <li>・生ごみ分別機借上料 1,058千円</li> </ul> </li> </ul> <p>対 象：6地区194世帯  内 容：家庭生ごみを所定の方法で分別収集し資源化する  実 績：15.2 t/年  その他：各協力地区に液肥タンクを設置</p>				
主な財源					
評価・課題等	○バイオガス発電施設を運営する先進自治体の取り組みを視察し、生ごみの資源化に向けた具体的調整事項や課題を聴取することができた。 ○生ごみ資源化実証により、分別上の課題などをより具体的に把握することができた。 ○今後は、市内の資源循環を促進するため、生ごみ資源化を全市で展開するための方策を検討する必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課				

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	18資源循環推進事業
細事業名	02 液肥普及推進事業			決算書 P.178
総合計画	基本方針	Ⅱ 環境循環都市	計画項目	④ 循環型社会の構築
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
207千円		252千円	45千円	82.1 % 0千円
目的	持続可能な循環型社会を目指すため、京丹後市エコエネルギーセンターを活用し、市内の家庭から排出される生ごみの再資源化や液肥を活用した環境保全型農業等を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>資源循環・環境保全型農業の一環としてエコエネルギーセンターの液肥を活用した営農技術の普及推進に取り組むとともに、「環のちから」の販路拡大のための農家向け勉強会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「環のちから」販路拡大に向けた勉強会（講師謝金、費用弁償） 31千円 開催日：平成25年3月26日（火） 場 所：アグリセンター大宮 視聴覚教養室 参加者：19人 内 容：「環のちから」のブランド化戦略について ほか</li> <li>○「環のちから」PRのぼり作製費（消耗品費） 25千円 内 容：「環のちから」農産物の販売促進PRのぼり10枚</li> <li>○「環のちから」シンボルマークデザイン調整手数料（手数料） 16千円 内 容：ブランド化促進へ向けて統一したイメージでPR等を行うため 全国公募して選定されたシンボルマークの体裁を調整する業務</li> <li>○「環のちから」認証シール作製費（印刷製本費） 35千円 内 容：認証シール大1,000枚 認証シール小1,500枚 「環のちから」栽培基準を満たす農産物に貼付</li> <li>○「環のちから」パンフレット作製費（印刷製本費） 100千円 内 容：「環のちから」農産物の販売促進PRパンフレット A4両面カラー刷り 14,000枚</li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○液肥の普及推進のため、液肥利用農産物「環のちから」の販路拡大に必要なPR資材の作製を行うことにより、ブランド化に向けた効果的な取り組みを行い、資源循環・環境保全型農業の推進が図れた。</p> <p>○環境に負荷の少ない資源循環型農業を推進するために、液肥利用の普及促進を目指し、液肥利用農産物「環のちから」について、生産活動の持続性を高めるため、高付加価値販売の促進を支援する必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／環境バイオマス推進課			